

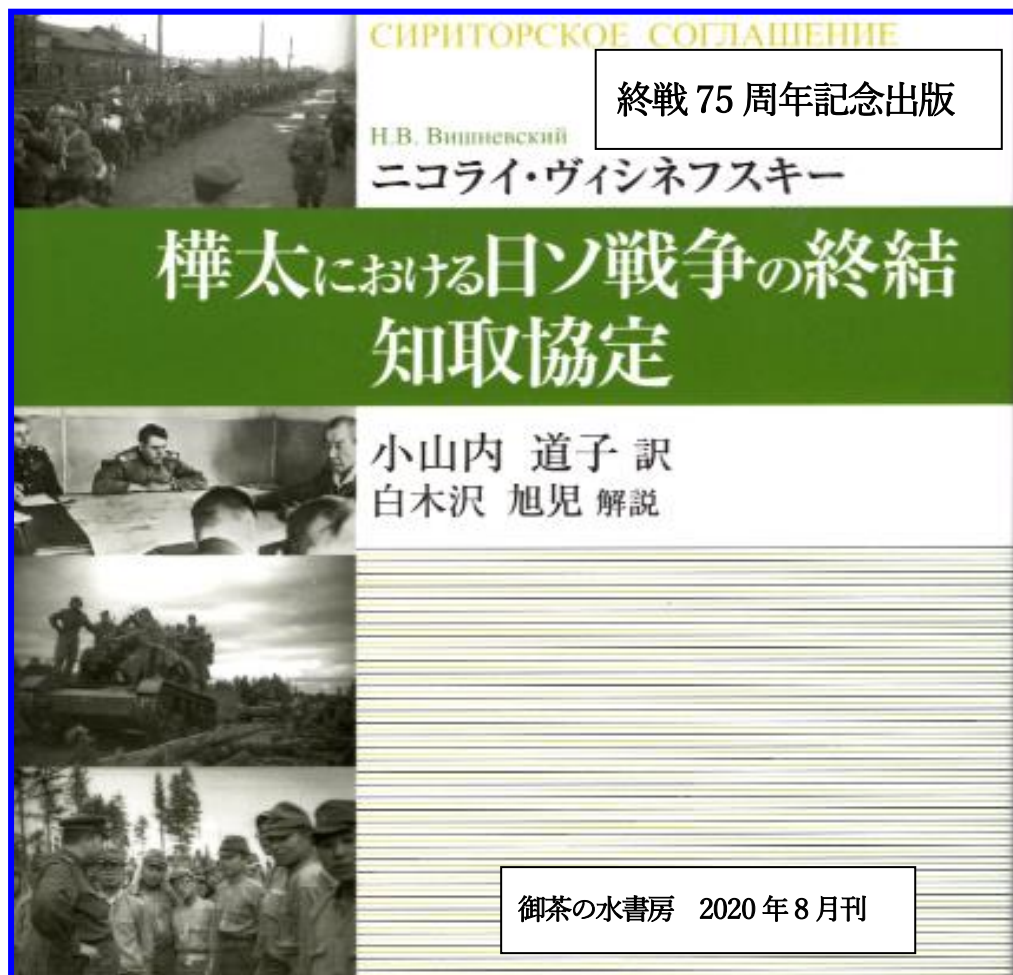
ロシア極東研12月研究会

共 催：サハリン・樺太史研究会/北海道大学大学院文学研究院北方研究教育センター/NPO法人・ロシア極東研

『樺太における日ソ戦争の終結と知取協定について』

日本人の多くは8月15日の玉音放送で太平洋戦争が終ったと思っている。ロシア人・旧ソ連国民の多くは対日戦勝記念日の前日9月2日に日ソ戦争が終結したと思っている。だが、樺太での日ソ戦争は、8月23日まで戦闘が続き、22日に知取で停戦協定が結ばれた（「北方四島」のソ連軍上陸・占領は8月28日～9月5日）。

本研究会はロシア人研究者が初めて知取協定に光をあてた本書を中心に史実を見つめ直します。



報告者 小山内道子（サハリン・樺太史研究会会員/ロシア極東研会員）

コメント 白木沢旭児（北海道大学大学院文学研究院教授）

日 時 2020年12月19日（土）午後2時～4時 会 費： 無 料

会 場 北海道大学学術交流会館第3会議室（密防止・先着15名。17日迄に申込み）

オンラインセミナー（ズーム）同時開催（17日迄に申込み。随時招待メール送信）

[申込み先] ロシア極東研事務局 佐々木 洋 / mysasaki@jcom.home.ne.jp

[問合せ先] 同 上 mysasaki@jcom.home.ne.jp ☎011-561-0258